



2026年4月7日

株式会社みずほ銀行

株式会社西武ホールディングス



みずほ銀行と西武ホールディングスとの間での 「Mizuho Eco Finance」の契約締結について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、本日、株式会社西武ホールディングス（代表取締役社長兼CEO兼COO：西山 隆一郎、以下「西武ホールディングス」）との間で、シンジケーション方式による「Mizuho Eco Finance」（※1、以下「本商品」）の融資契約を締結しました。

本商品は、国内外で信頼性の高い環境認定や指標等を組み入れた環境評価モデルを用いて、みずほ銀行がお客さまの取り組みを評価し、一定のスコアを満たしたお客さまに対して融資を行うサステナブルファイナンス商品です。

みずほ銀行は、継続的なモニタリングとエンゲージメント（建設的な対話）を通じて、お客さまの脱炭素社会への移行に向けた取り組みの促進を支援します。

なお、評価手法を含む本商品のフレームワークについては、株式会社日本格付研究所（JCR）から環境省の「インパクトファイナンスの基本的考え方」に整合する旨の意見書を取得しています（※2）。

みずほ銀行は、西武ホールディングスが長期目標として2050年度CO₂排出量ネットゼロ目標を設定していること、中期目標として2030年度に2018年度比CO₂排出量46%削減を目指すとともに着実にCO₂排出量を削減していることなど、評価モデルに使用している指標において高い水準で満たしていることを評価しています。

西武グループは、経営理念である「グループビジョン」に基づき、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを「サステナビリティアクション」として推進しています。社会課題や当社の事業環境を踏まえて、特に取り組むべき6つのマテリアリティ（重要テーマ）を設定し、各種取り組みを進めています。気候変動緩和の観点では、2026年4月に現行のCO₂排出量削減目標に加え、「2035年度までに2018年度比73%削減」、「2040年度までに2018年度比77%削減」を

中期目標として新たに設定しました。本目標達成に向け、省エネルギー設備や車両の積極的導入、再生可能エネルギーの活用などを通じて、気候変動の原因となる温室効果ガスの排出削減に引き続き努めます。今後も、持続的な社会形成への課題対応を図ることで、持続的かつ力強い成長を目指していきます。

〈みずほ〉は、ありたき将来の日本の産業構造“グランドデザイン”を描き、その実現に向けてお客さまの脱炭素化・トランジションを積極的に支援しています。〈みずほ〉の強みである「産業・業界知見」や「つなぐ力」を活かしたグループ一体でのソリューションの提供を通じて、お客さまとともに挑戦します。

＜案件の概要＞

融 資 先：西武ホールディングス

アレンジャー行：みずほ銀行

貸 付 人：国内金融機関

契 約 金 額：900億円

契 約 締 結 日：2026年4月7日

期 間：2年

※1：「Mizuho Eco Finance」の商品概要にかかるウェブサイト

<https://www.mizuhobank.co.jp/corporate/sustainability/mef/index.html>

※2：株式会社日本格付研究所のウェブサイト

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

以 上